

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、20～26℃台を示し、やや低め～平年並みの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり15トンの水揚げで、前週の7倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週の2倍（前年並み）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり17トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり42kgの水揚げで、前週の4.7倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり2.2トンの水揚げで、前週の2.1倍（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり42kgの水揚げで、前週の7倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり1.4トンの水揚げで、前週の4.5倍（前年を上回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり1.6トンの水揚げ。対馬西岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり104kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マアジなどが1日1統当たり50kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり189kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（10/15～10/19の5日間）沖合イカ釣り船（船凍船）は、大和堆付近で操業。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び浜田沖～隠岐諸島周辺、能登半島沖～佐渡沖～山形沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>